



MIC LINE AMPLIFIER **MLA8**

取扱説明書

# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

# 警告

## 電源 / 電源コード



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードを他の製品に使用しない。  
故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。  
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

## 接続



必ず実行

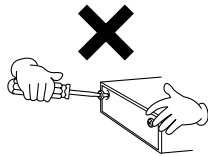
アース(接地)を確実にする。  
電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアース接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

## 分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



## 水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。  
感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に音がなくなったり異常においや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

## ⚠ 注意

### 電源 / 電源コード



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

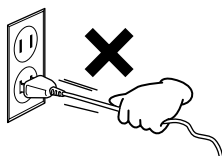
感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



### 設置



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

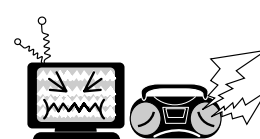
不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じることがあります。



### 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。

### 使用時の注意



禁止

この機器のパネルのすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器のパネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。この機器が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです。(IEC60268 規格に基づいています)

1: シールド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

・使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

・スイッチ、ボリュームコントロール、接続端子などの消耗部品は、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

# はじめに

---

---

このたびはヤマハ マイクライン アンプリファイアー MLA8をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MLA8は、8チャンネル対応のマイク/ラインアンプです。入力にはバランス型XLR端子、高品質マイクプリアンプ、チャンネルごとに+48Vファンタム電源を備えていて、マイクおよびラインレベルの両方に対応します。出力には、ユーロブロック端子とD-sub25ピン端子を備えていて、設備機器やDM2000などのヤマハデジタルミキサーに接続できます。

MLA8の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

## 目次

---

---

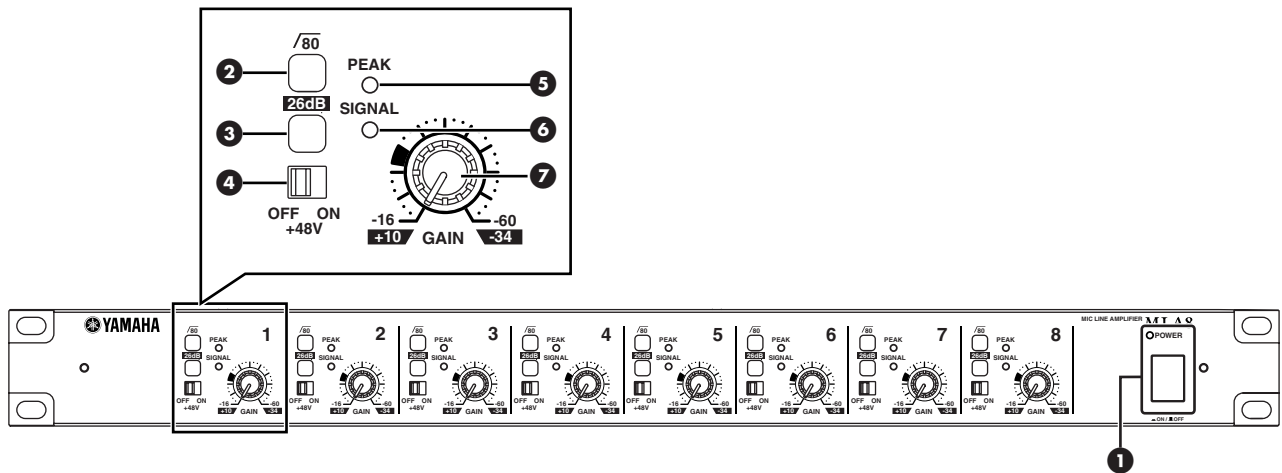
各部の名称と機能 . . . . .	6
接続例 . . . . .	7
仕様 . . . . .	8
寸法図 . . . . .	10
サービスについて . . . . .	11

・この取扱説明書に記載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。  
・この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

ヤマハプロオーディオ ウェブサイト：  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

# 各部の名称と機能

## フロントパネル



### ① POWERスイッチ/インジケーター

この機器の電源をオン/オフします。  
このスイッチを押してオンにすると、POWERインジケーターが点灯します。

**NOTE** スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、音源に近い機器から順に電源を入れてください。  
**例: 音源→MLA8→ミキサー→パワーアンプ**  
電源をオフにするときは、上記の逆の順序になります。

### ② [80]ボタン

各チャンネルのハイパスフィルターをオン/オフします。  
このボタンを押してオンにすると、80Hz以下の周波数帯域を減衰させます。

### ③ [26dB]ボタン

このボタンを押してオンにすると、各チャンネルの入力信号のレベルを26dB減衰させます。

### ④ [+48V]スイッチ

各チャンネルのINPUT (XLRタイプ)端子の2番ピンおよび3番ピンにファンタム電源を供給するスイッチです。+48V外部電源が必要なコンデンサーマイクなどをINPUT端子に接続するときは、このスイッチをオンにします。



- ・ファンタム電源が不要なときは、必ずこのスイッチをオフにしておいてください。
- ・ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイクなどのファンタム電源を必要とする機器以外が該当するINPUT端子に接続されていないことを確認してください。外部機器の故障の原因になります。
- ・ファンタム電源をオンにしたまま機器をINPUT端子で抜き差ししないでください。外部機器および本体の故障の原因になります。
- ・スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源をオフの状態、ファンタム電源をオン/オフしてください。また、デジタルミキサーなどの出力コントロールは、すべて最小にしておくことをおすすめします。大音量が出て、聴力障害または外部機器の損傷になることがあります。

### ⑤ PEAKインジケーター

各チャンネルのGAINコントロール後のピークを検出し、クリッピングの手前3dBに達すると赤色に点灯します。

### ⑥ SIGNALインジケーター

各チャンネルのGAINコントロール後の信号が、Nominal (ノミナル)レベルの手前10dB まで上がると緑色に点灯します。

### ⑦ GAINコントロール

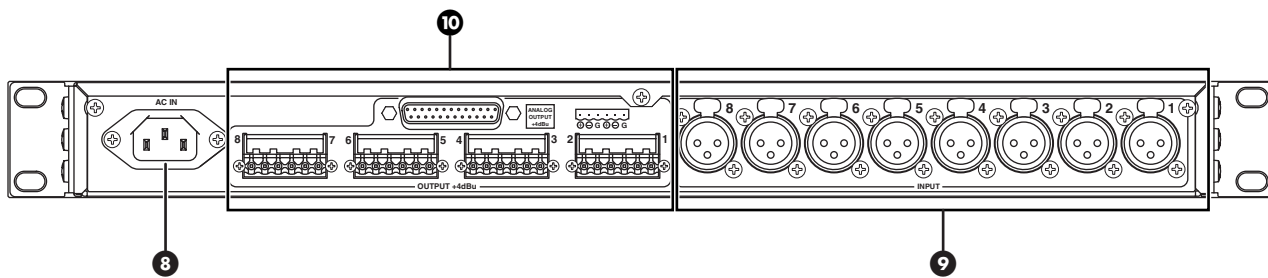
入力信号のレベルに応じて入力感度を調節します。  
マイク入力などレベルが低い場合、[26dB]ボタンをオフにして、-60dBu ~ -16dBuの範囲で調節します。ライン入力などレベルが高い場合は、[26dB]ボタンをオンにして、-34dBu ~ +10dBuの範囲で調節します。

**NOTE** 信号の最大入力時にPEAKインジケーターが点灯する程度に設定すると、S/Nとダイナミックレンジのバランスがとれた良好な状態になります。

### セキュリティカバーについて

この機器には、カバー取り付け用のネジ穴がフロントパネルの両端にあります(サイズM3、間隔423mm)。誤操作を防ぐためにお客様自身で作られたカバーをフロントパネルに取り付けられます。ただし、ヤマハからこのカバーは販売されておりません。  
カバーを取り付ける場合は、取り付けネジまたは支柱ネジがフロントパネルに15mm以上深く入り込まないように取り付けてください。  
また、カバーがつまみにあたらないようにするために、フロントパネルとカバーの間隔を約20mmとってください。

# リアパネル



## 8 AC IN端子

付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源コードは付属のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になることがあります。

## 9 INPUT 1～8端子

XLR-3-31タイプのバランス型入力端子で、各チャンネルにアナログ信号を入力します。

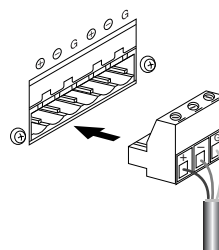
## 10 OUTPUT端子

ユーロブロック端子とD-sub25ピン端子の2種類のバランス型出力端子が装備されています。

### ●ユーロブロック端子

可搬設備などで頻繁に抜き差しされる場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.6mm以下で、長さ約7mmのもの(Phoenix Contact 社製A10,5-6WH など)をご使用ください。

この機器には、6ピンのユーロブロック端子が4つ装備されています。各ユーロブロック端子は2チャンネル分、各チャンネルはホット、コールド、グラウンドの3ピンの構成になっています。付属のユーロブロックプラグを図のように配線してください。プラグ上部のネジを締めてリード線を固定します。



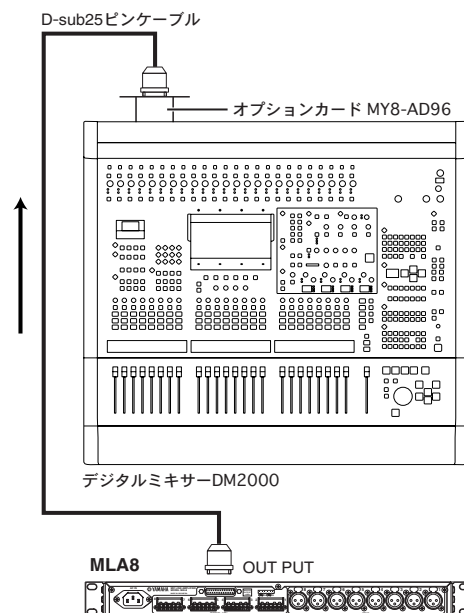
### ●D-sub25ピン端子

別売りのI/Oカード(MY8-AD96)を使用して、ヤマハのデジタルミキサーDM2000などに接続します。

# 接続例

## DM2000との接続

D-sub25ピンの接続ケーブルを使用して、ヤマハのデジタルオーディオ機器と接続します。DM2000と接続する場合は、DM2000に別売りのI/Oカード(MY8-AD96)が必要です。



# 仕様

## Electrical Characteristics

		Conditions	MIN	TYP	MAX	UNIT
Total Harmonic Distortion (THD+N)		20 Hz - 20 k Hz @ +14 dBu, 10 k ohms, GAIN Maximum			0.1	%
		20 Hz - 20 k Hz @ +14 dBu, 10 k ohms, GAIN Minimum			0.01	%
Frequency Response		20 Hz - 20 k Hz @ +4 dBu, 10 k ohms, GAIN Maximum	-1	0	0.5	dB
		20 Hz - 20 k Hz @ +4 dBu, 10 k ohms, GAIN Minimum	-0.5	0	0.5	dB
Hum & Noise (20 Hz - 20 k Hz)  Rs=150 ohms  Hum & Noise are measured with a 6 dB/octave filter @12.7 k Hz; equivalent to a 20 k Hz filter with infinite dB/octave attenuation.		PAD OFF, GAIN Maximum ( Sensitivity = -60 dBu )			-128 (68 dB S/N)	dBu
		PAD ON , GAIN Maximum ( Sensitivity = -34 dBu )			-99 (65 dB S/N)	dBu
		PAD OFF, GAIN Minimum ( Sensitivity = -16 dBu )			-108 (92 dB S/N)	dBu
		PAD ON , GAIN Minimum ( Sensitivity = +10 dBu )			-82 (92 dB S/N)	dBu
Maximum Voltage Gain		CH IN to CH OUT		64		dB
Crosstalk	Adjacent Inputs	@ 1 k Hz			-90	dB
	PAD ON, GAIN Minimum	@ 10 k Hz			-70	dB
CH INPUT GAIN control		variable		44		dB
CH INPUT PAD switch				26		dB

0 dBu is referenced to 0.775 V rms.

## General Specifications

CH High Pass Filter	80 Hz, 12 dB/octave Turn over /roll-off frequency of shelving : 3 dB below maximum variable level.
Phantom Power	+48 V DC is applied to balanced inputs for powering condenser microphones via 6.8 k ohms current-limiting/isolation resistors.
CH PEAK LED	One red LED per channel. Comes on when post - GAIN signal level reaches +17 dBu.
CH SIGNAL LED	One green LED per channel. Comes on when post - GAIN signal level reaches -10 dBu.
Included Accessories	Power Supply Cord, Euroblock Connectors ( 3P x 8 ), Rubber Feet ( x 4 ), Owner's Manual
Power Consumption	25 W
Dimensions (W x H x D)	480 mm x 44 mm x 375.5 mm
Weight	4.7 kg



## Input Characteristics

PAD	Gain	Actual Load Impedance	For Use With Nominal	Input Level *1		Connector In Amplifier unit
				Nominal	Max. before Clip	
0	-60	3 k ohms	50 – 600 ohms Mics 600 ohms Lines	-60 dBu (0.775 mV)	-40 dBu (7.75 mV)	XLR-3-31 type (balanced)
26				-34 dBu (15.5 mV)	-14 dBu (155 mV)	
0	-16			-16 dBu (123 mV)	+4 dBu (1.23 V)	
26				+10 dBu (2.45 V)	+30 dBu (24.5 V)	

\*1: 0 dBu is referenced to 0.775 Vrms.

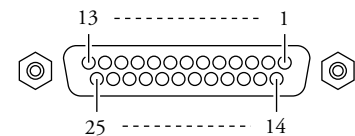
## Output Characteristics

Actual Source Impedance	For Use With Nominal	Output Level *1		Connector In Amplifier unit
		Nominal	Max. before Clip	
75 ohms	10 k ohms Lines	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	Euroblock connectors (balanced)
				D-SUB 25P female connector (balanced)

\*1: 0 dBu is referenced to 0.775 Vrms.

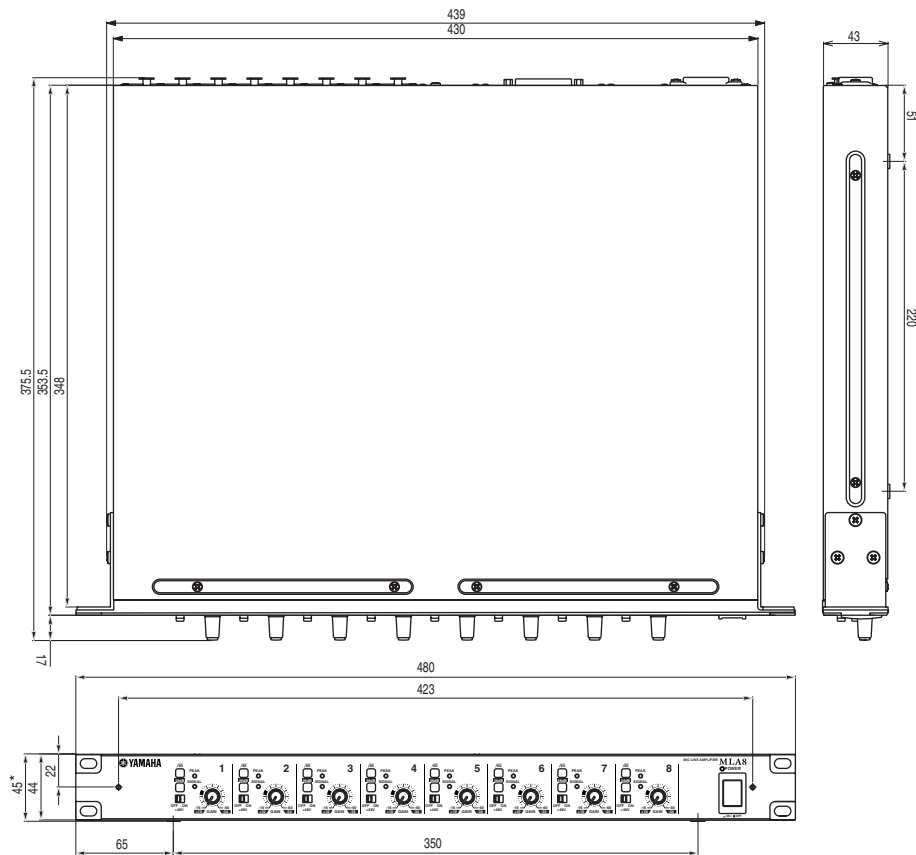
## D-sub 25pin Assignment Table

Signal		Output Ch								Open	GND
		1	2	3	4	5	6	7	8		
Pin	Hot	24	10	21	7	18	4	15	1	13	2, 5, 8, 11, 16, 19, 22, 25
	Cold	12	23	9	20	6	17	3	14		



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 寸法図



単位 mm

\* 付属のゴム脚取り付け時

ラックマウントしないで使用する場合は、必要に応じて付属のゴム脚を底面に貼り付けてください。  
貼り付け位置は、底面の丸い印を目印にしてください。

# サービスについて

## ■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

## ■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

## ■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのもかも保証書に書かれています。

## ■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品に関するご質問・ご相談はお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ修理ご相談センターへおよせください。

### お客様ご相談窓口:

### ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

### ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663

(電話受付=祝祭日を除く月~金/11:00~19:00)

ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

## ■営業窓口

PA・DMI事業部 PA推進部 CA国内マーケティンググループ  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-1-12 日本橋第2ビル  
Tel: 03-5652-3851

PA・DMI事業部 PA推進部 CAマーケティンググループ  
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

## ◆修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK  
ナビダイヤル ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830

受付時間 月曜日~金曜日 9:00~18:00、土曜日 9:00~17:00  
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 053-463-1127

## ◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:45

(浜松サービスステーションは 8:45~17:30)

(祝日および弊社休業日を除く)

\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

## 北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

## 首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

## 浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市東区和田町200

ヤマハ(株)和田工場内

FAX 053-462-9244

## 名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX 052-652-0043

## 大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX 06-6330-5535

## 九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX 092-472-2137

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

# ヤマハ株式会社

ヤマハプロオーディオウェブサイト  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>  
ヤマハマニュアルライブラリー  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation  
© 2004 Yamaha Corporation

WC61380 001MWZCx.x-xxB0  
Printed in Indonesia